

多職種連携講習会

主催：一般社団法人 鎌倉市歯科医師会
特定非営利活動法人 かまくら地域介護支援機構

地域で口から食べる幸せを支えよう ～KT バランスチャートを用いた包括的支援～

講師

NPO 法人 口から食べる幸せを守る会
理事長 小山 珠美



日時

平成 31 年 2 月 8 日 (金)
19 時～ 20 時 30 分

受付開始 18 時 30 分～

会場

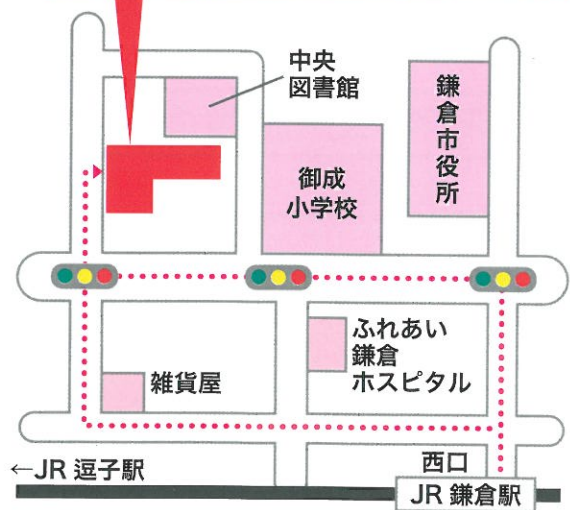
鎌倉市福祉センター
第 1・第 2 会議室 (2F)

対象者

医療・介護従事者

先着
100 名

鎌倉市福祉センター



出席連絡先

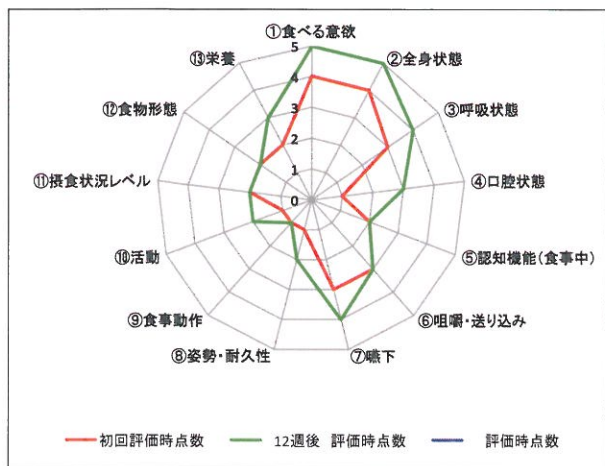
FAX : 0467-46-0059 または E-mail : jimukamakura@kamashien.com

KT バランスチャート症例

性別、年齢	女性、85歳
現病歴	5年前よりアルツハイマー型認知症と診断される。3年前に転倒により大腿骨転子部骨折により歩行困難となり寝たきり状態。2年前に誤嚥性肺炎により入院中に胃瘻造設。その後3回程肺炎を繰り返すも、直近6カ月は症状なし。そのほか大病はなし。
要介護状態	要介護5
栄養摂取状態	エンシュア H 250ml-250ml-250ml 計 1125kcal に加え、経口摂取は本人の希望時のみ大好きな甘酒を与えている。
BMI	16.3
認知機能	著しい認知機能の低下を認める。発語はあるが学生時代の同じ話を繰り返す。
家族歴	現在ご主人と二人暮らし。一人息子夫婦は隣町に住んでいて週に一度、息子の嫁が食材や身の回りの掃除や世話のため来てくれている。 ご主人は認知症等病歴はないが、元々腰痛持ちで長時間の歩行や、買い物は困難。 息子夫婦と同居も検討したが、ご本人の希望で昔から住んでいる自宅で過ごされている。
介入職種	ケアマネジャー、主治医（内科医）、歯科医師、歯科衛生士、ホームヘルパー、訪問看護師、管理栄養士、理学療法士、言語聴覚士

介入までの経過

ご家族よりかなり痩せてしまったので口から食べられないかを相談される。ケアマネジャーは言語聴覚士に嚥下機能評価を依頼。ゼリーをティースプーンで1口食べさせると飲み込む機能は悪くないが、先行期（認知期）、嚥下関連筋の著しい筋力低下による口腔期の障害ありと診断。口腔ケアも行っていなかったため、ケアマネより訪問歯科医師に口腔内状態の検診とケアを依頼。訪問歯科医師から口腔内の著しい歯周病を認めるため定期的な口腔ケアを行うと説明がある。歯科衛生士による定期的な口腔ケアにより口腔内の炎症が落ち着いてきた頃、以前より発語量は多くなる変化が見られた。毎日1回、ホームヘルパーか訪問看護師がいる時間にご主人がゼリーを3口まで経口摂取を行った。ご本人はテレビ番組で食べ物の特集をやっているのを見て口からもっと色々食べたいと話し始める。全身の筋力低下を認めるため、理学療法士による歩行訓練を行っていく。ご家族はさらに経口摂取が可能ならばお楽しみ程度でも食べさせたいと希望。栄養状態が良くないため管理栄養士も介入し、栄養状態の改善、食形態、摂食指導を行っていく。



返信用FAX用紙

多職種連携講習会：地域で口から食べる幸せを支えよう

氏名	職種	所属

(特非) かまくら地域介護支援機構 行

申込書
FAX

* 1月31日までにお送りください。

0467-46-0059